

二〇一〇年六月二日(火) — 十一月八日(日)

大阪市立東洋陶磁美術館

I室

天



目

Tenmoku

—中国黒釉の美 —
—The Beauty of Chinese Black-Glazed Ware
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

主催：大阪市立東洋陶磁美術館 共催：NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿

「特集展」現代の天目—伝統と創造
「コレクション展」

同時開催

安宅コレクション 中國陶磁、韓国陶磁、

李秉昌コレクション 韓国陶磁、日本陶磁、

沖正一郎コレクション 鼻煙壺

国宝 油滴天目／建窯／南宋時代・12～13世紀／大阪市立東洋陶磁美術館（住友グループ寄贈／安宅コレクション）

撮影：西川茂

moc
OSAKA

2016年
大阪市立東洋陶磁美術館
(Nian Thong Kim氏寄贈)

同年開催「特集展」現代の天目—伝統と創造

【コレクション展】

安宅コレクション中国陶磁、韓国陶磁、

李秉昌コレクション韓国陶磁、

日本陶磁 沖正一郎コレクション鼻煙壺

※右記の料金は館内の展示すべてを

ご覧いただけます。

※中学生以下障がい者手帳などを

お持ちの方介護者1名を含む)、

大阪市内在住の65歳以上の方は

無料(説明書等提示)

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(8月10日、9月21日は開館)、
8月11日(火)、9月23日(水)

入館料 一般1,400円(1200円)、高校生大学生700(600)円

※当面の間開館時間を短縮いたします。
(通常の開館時間 午前9時30分～午後5時)

開館時間 午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

黒、それは無限の色の宇宙。

日本には数多くの中國製の天目(茶碗)が伝世しています。

なかでも近年国内外で話題となっている曜変天目と油滴天目は

中國宋時代に建窯でつくられた黒釉茶碗の最高峰で、当館には日本伝世の油滴天目で唯一国宝に指定されている作品が所蔵されています。

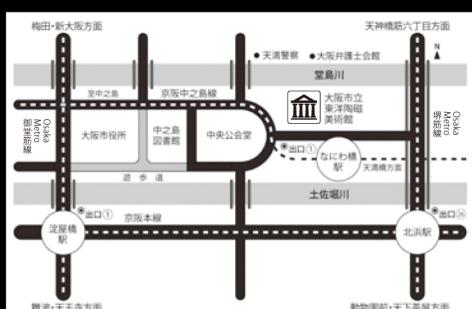
本展では、中国陶磁の歴史において、重要な系譜の一つである黒釉陶磁にスポットをあて、当館所蔵品に個人所蔵品を加えた

唐時代から金時代の作品計24点により、中国黒釉の美に迫ります。

なお、同時開催の特集展「現代の天目—伝統と創造」では、近現代の作家による天目作品を通して、伝統と創造による天目の多彩な表現とその可能性をご紹介します。

moc
OSAKA

OSAKA



大阪市立東洋陶磁美術館
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

1～7は大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション) 撮影:西川茂